

# 教職の魅力創造プロジェクトを振り返って

叶内 有希絵（山形県教育局高校教育課指導主事）

## 1. 小学校教員体験セミナーについて

教員は子どもたちの成長に携わることができる大変魅力的な職業ですが、本県でも教員志願者の減少は大変深刻な状況にあり、教員を目指す若者の確保が急務となっています。これを踏まえ、県教育委員会では令和2年度から、小学校教員という職業に興味を持っている高校生を対象にした「小学校教員体験セミナー」を実施しております。今年度は、山形市に加え、山形大学附属小学校の協力を得て、県内12の高校を対象に実施しました。また、今年度も地域教育文化学部の先生方をはじめ、大学生の皆様から引き続き多大なる御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

事前オリエンテーションでは、地域教育文化学部の野口徹教授と大学院教育実践研究科の森田智幸准教授による講義や大学生・大学院生とのグループワークを実施しました。これらの活動を通して、参加した高校生からは、小学校を訪問する際の視点の明確化や教員になる意欲の高まりなどの効果があったとの感想が寄せられました。小学校では、校長先生による講話、配属クラスでの児童との交流や学習支援を行うことで、小学生と関わることの喜びや難しさを体験することができました。高校在学中に複数回参加する高校生もあり、「昨年も参加して教員体験をしましたが、その際に感じたこと、学んだことをもとに新たな視点で小学生たちを観察し、新たな学びを得ることができた。」という意見があることから、本セミナーが、高校生にとって「教職」や「教育」について考えを深めるきっかけとなっていることを確信しております。

## 2. 「教職の魅力創造プラットフォーム会議」に参加して

本会議は、大学教員、教育行政、学校関係者、大学生、高校生が一堂に会し、それぞれの視点から教職の魅力を整理し、魅力創造に向けてプロジェクト全体の方向性を決めるという、忌憚なく意見を交わせるプラットフォームです。それぞれの所属において何ができるのかを共に考え、連携及び発信することができる全国でも類を見ない取り組みです。様々な年代や背景を持つ者が集まり、各プロジェクトへの参加によって気づいた教職の魅力や教育の面白さを共有するとともに、各プロジェクトの今後の方向性を見出す場となりました。県教育委員会としましても、未来の本県教育を支えていくため、本会議の充実に向けて諸機関とさらに連携してまいります。

## 3. 今後の教職の魅力創造について

「小学校教員体験セミナー」の対象校を県内12校としたことで、より多くの高校生が教員を体験し、その魅力に気づき、教員になりたいという気持ちを強めています。参加した高校生の中には、教育の様々な事象をテーマとして探究活動を行ったり、大学の公開セミナーに参加したり、これまでとは異なるかたちで「教育」に関わりを持つ者が出てきています。中・高・大とそれぞれの教育段階で行うセミナー等が有機的に、そして連続性をもってつながることがキャリア形成に大きな意味を持つことから、今後も小学校教員体験セミナー等の事業の改善と充実に努めてまいります。今後もよろしく願いいたします。